



難民映画祭
REFUGEE FILM FESTIVAL
PARTNERS

事前申込制

参加無料

難民映画祭パートナーズ上映会 2025



©Peace by Chocolate

映画上映会 2025年6月30日(月)

上映作品

第1部 永遠の故郷ウクライナを逃れて

第2部 ピース・バイ・チョコレート

時間

第1部 14時から15時40分まで

第2部 18時30分から20時10分まで

会場

文京シビックホール 小ホール

(文京区春日 1-16-21 文京シビックセンター2階)

申込方法

下記の申込フォーム、または右記QRコードからお申込みください。

<https://logoform.jp/form/6KSU/582494>

申込締切

2025年6月23日(月)

その他

参加無料 / 事前申込制 / 定員 200人



▲申込み



▲区HP

託児(対象: 1歳~未就学児、定員あり)・手話通訳は6月12日(木)までに要申込

主催:  文京区  文京区総務部総務課ダイバーシティ推進担当 TEL03(5803)1187

後援: 国連UNHCR協会 UNHCR駐日事務所

印刷物番号: B0125001

上映スケジュール

日時 6月30日 (月)

第1部 14:00～15:40まで 「永遠の故郷ウクライナを逃れて」

第2部 18:30～20:10まで 「ピース・バイ・チョコレート」

※第1部上映前に、詩の朗読劇「リスト：彼らが手にしていたもの」(約9分)を上映。

※開演の30分前から受付・開場。座席は先着順・自由席。※各回、完全入替制



上映作品

永遠の故郷ウクライナを逃れて (原題：In the Rearview)

監督：Maciek Hamela／ポーランド、フランス、ウクライナ／2023年／84分／ドキュメンタリー

ウクライナの市民が恐怖の紛争から逃れる避難の旅路を追った観察記録である。監督は自ら車を運転し、地雷原や軍事検問所を通過しながら、人々の移動を手助けする。カメラは、車のバックミラーにうつる表情、後部座席で繰り広げられる会話を記録しながら、戦時下におかれた人たちの思いを映し出す。ウクライナからポーランドまでの何万キロもの道中で、車は、待合室、病院、避難所、そして、偶然に乗り合わせた同胞の告白の場となったのである。



ピース・バイ・チョコレート (原題：Peace by Chocolate)

監督：Jonathan Keijser / カナダ / 2021年 / 96分 / ドラマ

シリア内戦により難民となったテレクは家族と共にカナダへ移住。一家の受け入れ先は、故郷のダマスカスに比べてはるかに小さな街だったが、内戦で宙ぶらりんになった医学部卒業を目指すテレクは方法を模索する。一方、一流のチョコレート職人だった父親のイッサムは、移住先の人々の支援を得てチョコレート販売を再開する。家族、平和、そして人々に幸せを運ぶチョコレートを描いた、実在するチョコレート店の心温まるサクセスストーリー。



©Peace by Chocolate

世界難民の日関連事業 6月20日は「世界難民の日」

世界難民の日こいのぼりの掲揚～ブルーのこいのぼりが泳ぐ～

「世界難民の日こいのぼりプロジェクト」で製作されたブルーのこいのぼりが、難民のこどもたちの幸せを願い泳ぎます。
※天候により掲揚できないことがあります。

日程▶6月20日(金)～6月30日(月)

時間▶7:30～17:00

場所▶シビックセンター入口前(礪川公園側)



世界難民の日ブルーライトアップ

6/20「世界難民の日」に日本各地が「UNHCR カラー」のブルーに！文京区も参加しています。

日程▶6月20日(金)～6月30日(月)

時間▶18:00～22:00

場所▶シビックセンター屋上三角屋根

